

	香川大学 社会科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	経済学部（第1年次：280名、第3年次：20名） 【夜間主】（第1年次：20名） 経済学研究科（M：10名） 地域マネジメント研究科（P：30名）
沿 革	大正12（1923）年 高松高等商業学校設置 昭和19（1944）年 高松経済専門学校設置 昭和24（1949）年 香川大学経済学部設置 昭和54（1979）年 経済学研究科設置 平成16（2004）年 地域マネジメント研究科設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、高松経済専門学校を包括して香川大学が設置された。同年、経済や経営に関する専門知識をいかし、地域に根ざしながら世界と連携し共生する進取の気象に富んだ経済人を育成することを目的として、経済学部が設置された。 昭和54（1979）年に、経済学・経営学の諸学融合的な視点から、社会経済システムを総合的に把握しうる高度な専門的能力を持った人間を養成することを目的として、経済学研究科が設置された。 平成16（2004）年に、地域活性化の中核的担い手の育成を目的に、地域におけるマネジメントを教育研究し、地域について把握分析できる能力とマネジメント能力を有する人材を組織的、体系的に養成することを目的として、地域マネジメント研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	【総論】 香川大学における社会科学分野においては、真理の探究を図るとともに、香川県を中心とした中四国地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。 【教育】 (学部) ○ 経済学・経営学の学問分野の教育研究を通じて、経済経営に関わる定量・定性データを分析し、課題を探究できる能力や経済経営の知識・理

解を有し、自らの頭で考える能力を備え、地域の金融機関を中心に社会で活躍できる人材を養成する。

- このため、1年次の入門ゼミから4年一貫の少人数教育を実施するとともに、地域をフィールドにした地域活性化研究や学生公募型プロジェクトに取り組むなど、学生の主体的な学びを推進している。
- これらの取組を通じて行われた学生の主体的な学びの活動が、日銀グランプリにおける金融・経済に関する提言や社会人基礎力グランプリの受賞につながっている。
- 今後、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、グループワーク、フィールドワークを取り入れた授業科目の充実や学部横断型教育プログラム（ツーリズム、地域活性化など）により、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 経済学・経営学の高度で実践的な専門的知識を基礎にした論理的思考力、課題を発見し、分析・判断、解決策を提案できる能力を有し、幅広い観点から諸問題に向き合い解決できる能力を備えた専門職業人を養成する。
- このため、例えば、地方財政論と地域文化論による市街活性化、マーケティング論と中国文化論による観光地の魅力に関する研究など、異なる専門分野の教員による副演習などに取り組んでいる。
- 今後、各専門分野及び専門分野の枠を超えた体系的な教育プログラムの実践に取り組むなど、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制の充実・強化を通じ、大学院における当該分野の強み・特色を明確にする。

(専門職大学院)

- 地域活性化に資する教育研究を進め、地域の実情と課題を客観的に把握する能力や地域の課題解決に必要なマネジメント能力を有し、地域社会で活躍する高度専門職業人を養成する。
- このため、複数の教員と複数の学生がグループを形成し、地域企業や自治体が抱える問題に対して、理論的かつ実践的に調査研究し、解決策を提案する地域活性化プロジェクトに取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、地域の企業や自治体の現職者を受け入れ、社会人の学び直しの機能として役割を果たしており、経営者や自治体の幹部職員の再教育に寄与している。

- 今後、自治体等との連携を強化し、農業、医療、福祉、観光の現場におけるマネジメント人材の育成といった新たな地域ニーズに対応した教育研究を推進するとともに、社会人を取り巻く時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、地域活性化に貢献するという研究科設置の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 経済・経営分野における研究実績をいかし、時系列分析の応用研究や医療サービスの特質を考慮した患者満足度測定尺度開発などのサービス・マーケティングに関する実証研究、地域の課題解決に向けた調査研究、小豆島の特産をいかしたオリーブ加工ビジネス事業モデル研究などの地域ビジネスに関する実践的な研究に取り組んでいる。
- 小豆島のオリーブ加工ビジネス事業モデル研究の実績をいかし、香川県産業成長戦略（平成 25 年 7 月）の重点プロジェクトに「オリーブ産業強化プロジェクト」が盛り込まれるなどの成果を得ている。
- 今後、地域の自治体や企業等との連携を一層強化し、地域経済・社会の実情を十分に踏まえた地域活性化に資する研究プロジェクトを総合的かつ組織的に取り組む。また、香川県を中心とした中四国地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 経済学部夜間主コースや大学院のマネジメント分野において社会人を積極的に受け入れており、地域のニーズを踏まえつつ、持続的な社会人の学び直しに取り組む。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18 歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等を見直しに取り組む。また、大学院の定員未充足の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。